

進路情報提供

センター試験まであと100日です！！

今年度もセンター試験まであと100日となりました。4年制大学を志望している3年生にとってはまさにラストスパートの時期に入ります。思うように点数が伸びずに焦ったり、遅くまでの勉強で精神的・体力的にもきつかったりと、毎日様々な不安と闘っていると思います。しかし、逃げずに立ち向かってください。泥臭い努力だけが、成功への唯一の道なのです。

「思い続ける者が勝つ」

頑張れ、3年生！！

さて、今年度のセンター試験からその実施方法が少し変更になります。今回は、センター試験100日前ということで、1・2年生の生徒と保護者の皆様向けに「センター試験とは何か?」「今年度のセンター試験は何が変わるのか?」という話題を取り上げてみたいと思います。

1. センター試験とは?

センター試験は、国公立大学を受験する人が、原則として必ず受けなければならない全国共通の試験です。今年度は、来年の1月14日、15日に実施されます。ほとんどの大学が5教科7科目を指定しており、英語の試験ではリスニングも実施されません。

国公立大学はセンター試験と、2月に行われる大学別の試験を合計して合否を判定します。そのため、センター試験で点数をとることが、大学合格への第1歩となります。また、私立大学でもセンター試験を利用する入試方式を実施するところが増えてきています。この場合、多くの私立大学ではセンター試験の点数のみで合否が決まるようになっており、私立大学対策をしなくても私立大学に併願できるというメリットがあります。

2. 今年度のセンター試験の変更点

今年度のセンター試験の大きな変更点は2つあります。

まず、1つめは地歴、公民、理科の受験方法です。これまでのセンター試験では、例えば社会では「地歴から1科目、公民から1科目」という具合に地歴と公民にそれぞれ選択枠があり、その中から受験科目を選ぶという方式でした。ところが今年度は「地歴・公民から2科目」という方式になり、これにより「日本史と世界史」で受験をしなければならない大学も出てきました。理科も同様に、今まで選択不可能だった2科目の組合せが可能になり、大学の指定もそれに伴い変更されています。自分が志望する大学がどのような指定をしているのかを注意深く調べておかないと、受験することすらできなかったということになりますので、しっかり確認しておいてください。

2つめは受験教科を事前に登録しなければならなくなったということです。つまり、センター試験の出願時に受験教科を決めなければならず、地歴、公民、理科については受験科目数（1科目か2科目か）もあわせて申請しなければならなくなりました。特に気をつけなければならないのが地歴と公民です。出願時に「地歴から1科目」「公民から1科目」「地歴から2科目」「公民から2科目」「地歴から1科目、公民から1科目」のうち、どのパターンで受験するのかを決める必要が出てきます。しかもこの選択は、出願後には変更できません。つまり、出願時に受験できる大学がある程度絞られてしまうということです。このことを踏まえて、志望する大学を考えておきましょう。

以上、今年度のセンター試験について述べてきましたが、1、2年生の中にはまだ先のこととしか考えていない人もいないのでしょうか。しかし、そのときは必ずやってきます。未来の自分は現在の自分の積み重ねでしかありません。今、できること（毎日の授業・課題・試験）に全力で取り組み、自分の夢を自分の力で掴み取りましょう。

進路の質問にお答えします！

進路に関する質問があれば、下の質問事項に記入し、切り取って担任まで渡してください。

.....切り取り線.....

<質問事項>

()年()組()番 生徒氏名()